

魚沼地域定住自立圏構想

ダイジェスト版

企画政策課 ☎773-6672

南魚沼市、魚沼市、湯沢町の2市1町では、魚沼地域定住自立圏構想を進めてきました。この構想の将来像などを示した定住自立圏共生ビジョンを策定しましたので紹介します。

定住自立圏構想とは

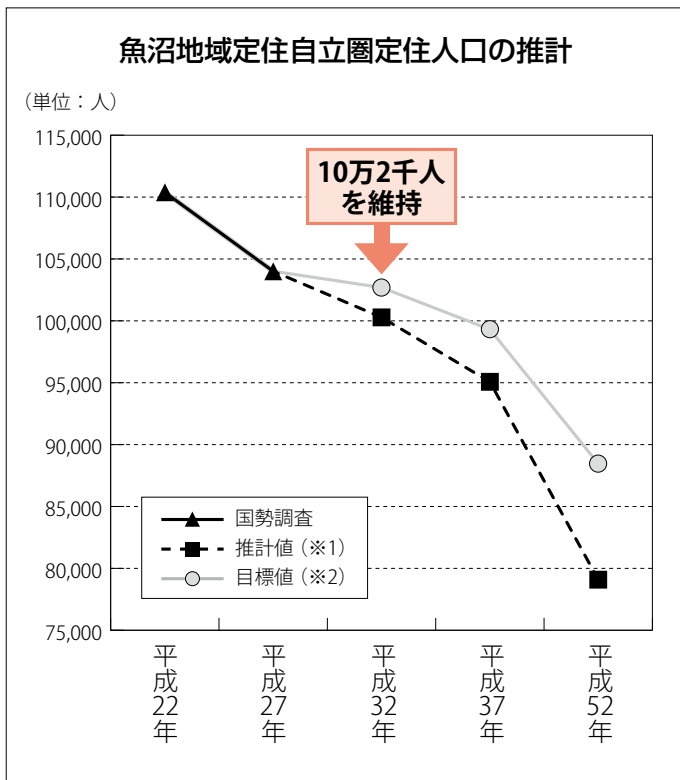
人口減少と少子高齢化が進む地方圏で、安心して暮らせる地域形成をめざす構想です。南魚沼市では、魚沼市、湯沢町とともに1つの圏域として、圏域から3大都市圏への人口流出を食い止め、3大都市圏から圏域への人口流入を図ることを目的としています。

これまでの取組みと定住自立圏共生ビジョン

- ◆平成27年9月29日…南魚沼市が、2市1町の中心的な役割を担う「中心市宣言」を実施
 - ◆平成28年3月25日…2市1町で、相互に役割分担しながら連携していくための「定住自立圏形成協定」を締結
 - ◆平成28年10月21日…圏域の将来像や協定を基にした具体的な取組みを示した「定住自立圏共生ビジョン」を策定。今後、以下の3つの分野で連携して取組みを進めます。
 - ①生活機能の強化【医療、教育、産業振興、生活環境、防災、消防】
 - 例 ●文化スポーツ施設や公民館講座などの利用条件を統一し、利用拡大を図る
 - ごみ・し尿処理施設を共同で建設・運営し、費用削減を図る
 - ②結びつきの強化【地域公共交通、広報、交流・移住促進】
 - 例 ●路線バスの運行を維持し、利便性の向上を図る
 - 婚活支援事業などを共同で実施し、圏域内の交流人口の増加を図る
 - ③圏域マネジメント能力の強化【人材育成】
 - 例 ●市・町職員を対象とした合同研修を実施し、人材育成と広域連携を進める
- ※詳しい内容は、市ウェブサイトに掲載しています

今後の目標

これらの取組みを進め、平成32年度に圏域内の推計人口約10万人よりも約2千人多い定住人口の確保をめざします。



(単位：人)

年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成52年
国勢調査	110,381	104,005 (速報値)			
推計値 (※1)			100,279	95,073	79,087
目標値 (※2)			102,695	99,309	88,462

※1 国立社会保障・人口問題研究所による推計値
 ※2 2市1町の人口ビジョンによる目標値